

明科廃寺

古墳時代末(7世紀後半)に創建された古墳寺院です。瓦葺の本格寺院では信濃国で最も古い寺院のひとつと考えられています。これまでに5回の発掘調査が行われ、軒丸瓦など古代の瓦が大量に出土し、この地に立派な寺院があったことがわかってきました。



明科廃寺を築いた人々

平成30年の発掘調査では、窪地から大量の廃棄された瓦が出土しました。

その中には、飛騨古川の古代寺院から出土した軒丸瓦と同じ範(はん)から製作した瓦が発見され注目されました。

また、この発掘調査で明科廃寺は、平安時代の中頃には廃絶したこともわかってきました。

どのような人たちがこのような立派な寺院を築き、飛騨との繋がりはどのようなものだったのでしょうか。



河岸段丘(カガンダンキウ)

明科の地形は屋川、会田川、高瀬川沿いの浸食と堆積による、河岸段丘によって作られました。

現在の河床から見て最も高い第1段丘は150m以上、第2段丘は120m、第3段丘は70m、第4段丘は30m、最も低い第5段丘は10m以上となっています。明科支所周辺は第4、第5にあたります。標高は長峰山933.5m。

安曇野市役所

市民生活部移住定住推進課空家活用係

長野県安曇野市豊科6000番地

0263-71-2011(直通)

akiya@city.azumino.nagano.jp



見学会 空き家空き店舗

令和7年5月17日

第26回

明科駅周辺 まちあるき



インフォメーション

開催日時 令和7年5月17日(土曜日)

13時~16時20分(受付12時30分~)

撮影について

まちあるき中は個人の物件をご紹介しますので、SNSなどによって特定が出来ない様に撮影のご配慮をお願い致します。

*アフタートークも開催!参加者との交流も!

スタッフ紹介



案内人

横内 健人

ヨコウチ タケト

明科駅周辺まちづくり委員会会長

「地元明科への熱き想いの妄想家」

マネージャー

岩淵 省

イワブチ アキラ

地元明科のまちあるき立ち上げから参加
松本市のまちづくりにも精通している。



インスペクション

高井 健慈 一級建築士

タカイ ケンジ

「しぜんとくらし。日本の木の文化を尊重し、
持続可能で穏やかな暮らし」を目指している。

地域おこし協力隊

松尾 大

マツオ ハジメ

2024年4月から家族で空家へ移住。
借家の壁塗りが終わり、工房化が進む。

明科駅周辺まちづくり委員会

事務局 長野県安曇野市明科中川手3839番地2

サイド・インサイド 株)内

090-4002-9921(横内)

taketo-yokouchi@side-inside.co.jp



～明科まちあるきマップ～



今回の見どころ①

K氏邸。明科のまちに残された純日本的な建築と庭が残る。

今回の見どころ②

Y氏邸。明科中学近くの木造戸建て。文教地域の住居に最適。



活用可能物件



空家活用事例



トイレ